

おとこざわ な お み
男澤 奈穂美さん

農業生産法人株式会社オークリーフ牧場 常務取締役

1967年生まれ、芽室町出身。専門学校卒業後、地元農協に就職。16年間勤務する間に結婚し出産。出産後、現在の会社社長から声をかけられ転職。転職後すぐに第2子を出産するも10ヶ月の産休を経て職場復帰し、その後、課長、部長を経て2016年から現職。2女之母。



安全安心な食を通して十勝を盛り上げたい

きっかけ

実家が畑作農家だったこともあり、地元の農協に勤めるというのは既定路線でした(笑)。あまり何も考えていなくて、自然な流れで就職していました。3年間臨時職員をした後、正社員になり、はじめはお給料のために働いていたと思うのですが、仕事に慣れるうちに、いろいろな方に頼られる事が増え、人のために働いているんだという実感が強くなってきて、仕事が面白くなりました。結婚して出産した時に働き続けにくい状況になり、もやもやしていた時に、今の会社の社長に声をかけていただき、思い切って転職しました。

満足度

仕事は大変なこともあります、新しい事へのチャレンジも多く、その度にたくさんの人と出会うことができとても充実しています。夢を持つことができにくい、目の前の仕事をやりきっていくことで満たされています。また、10年ほど前に誘われて参加した十勝キャリアデザインネットワーク(女性団体)で出会った方々にも、とても影響を受けました。仕事はやはり人と人の繋がりが大切で、人のために働くことができていると思えることで、自分の存在意義みたいなものも見いだせるようになりました。

苦勞

転職してから1年間くらいは毎日悔しくて泣いてばかりいました。農協で働いていましたが、畜産関係の仕事は初めてで、分からないことばかり。正社員としてパートさんと同じ働きではいけないと思い、1年間で働き方を学びました。社長もパートさんが居ないときにわざと聞いてくるんです。とても鍛えられました。転職してすぐに第2子を妊娠、出産したのですが、せっかく雇っていただいたのにどうしようと思っていたところ、社長に「本当におめでとうことだ」と言っていただき、より一層その恩に報いなくてはと思いました。

これから

課長、部長と職階が上がっていく度に、このポジションに合った仕事はなんだろうかと考えさせられました。仕事には終わりがなくて、今でも日々勉強させてもらっています。社員を雇う側に立つと、自分で仕事をこなすこと以外に、職員を先導し、バックアップし、叱咤激励し、更にいろいろな事を考えるようになりました。社員と自分の子どもって、自分が守り育てるという意味では同じなんだなと最近思います。仕事は本当に楽しくて、死ぬ直前まで働いていたいなって本気で思っています。そんな環境を与えてくれた社長には本当に感謝ですね。

子どもを育てながら働くことにためらいのあるお母さんもいると思いますが、子供と一緒にいられる時間が短いからこそ、より深い愛情が与えられると思います。ほどよい距離感を持つことも大切。仕事をすることで、きらきら輝いているお母さんでいたいと思っています。